

2023 年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 A 方式

# 小 論 文

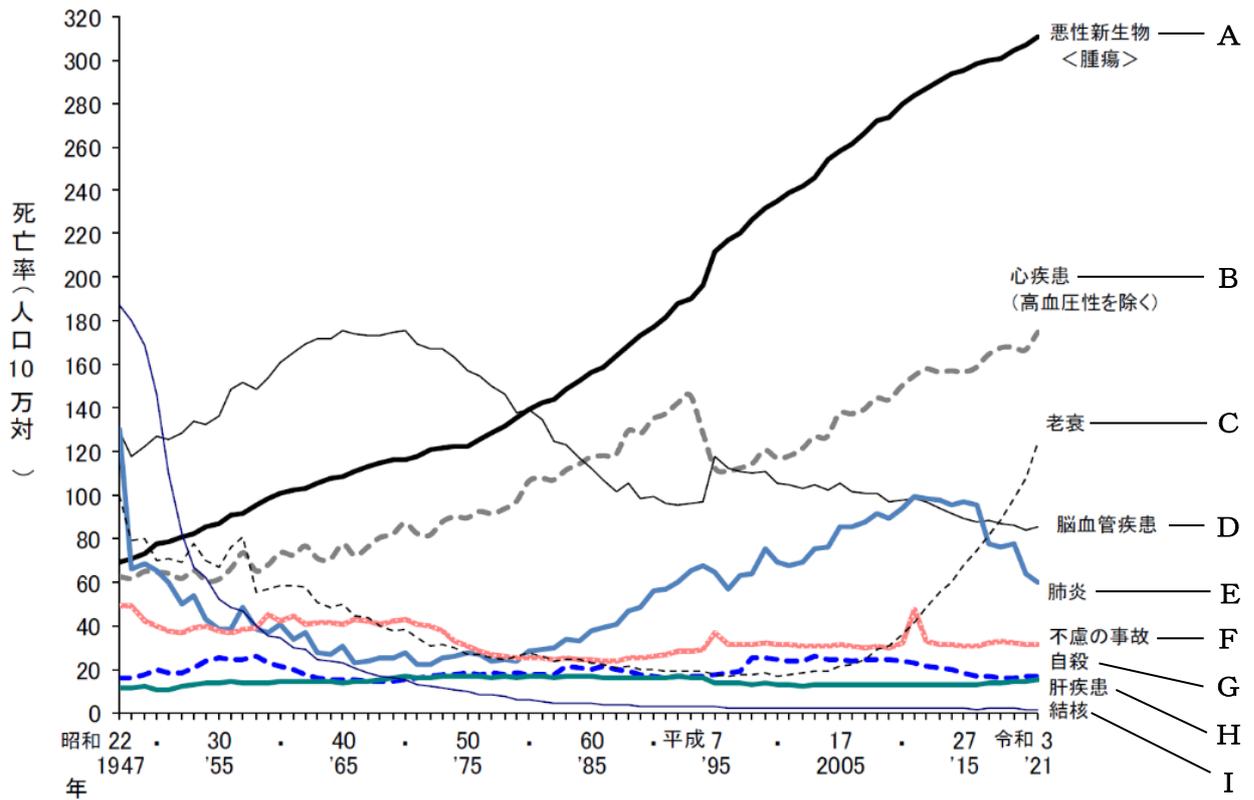
受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問題は次のページから始まります。

次のグラフは、わが国の主な死因別にみた死亡率について、1947年から2021年までの変化を表したものである。グラフを見て、以下の設問に答えなさい。

図 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

（出典：厚生労働省 令和3年（2021）人口動態統計月報年計（概数）の概況）



- 注：1) 平成6年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。  
 2) 平成6・7年の「心疾患（高血圧性を除く）」の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。  
 3) 平成7年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。  
 4) 平成29年の「肺炎」の低下の主な要因は、ICD-10（2013年版）（平成29年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

設問1. 以下の文章の①～⑦に当てはまる死因について、グラフ中の死因 A～I から適当なものを選び、アルファベットで答えなさい。

1975年の死因の1位は( ① )、2位( ② )、3位( ③ )であったが、2021年の死因の1位は( ④ )、2位は( ⑤ )、3位は( ⑥ )であった。2005年から2021年で増加率が最も高い死因は( ⑦ )であった。

設問2. 2021年の死因別死亡率上位2つの死因を予防するために、看護職としてどのような予防的な取り組みを行ったらよいか、あなたの考えを述べなさい。

(500字～550字)

## 小論文 (解答用紙)

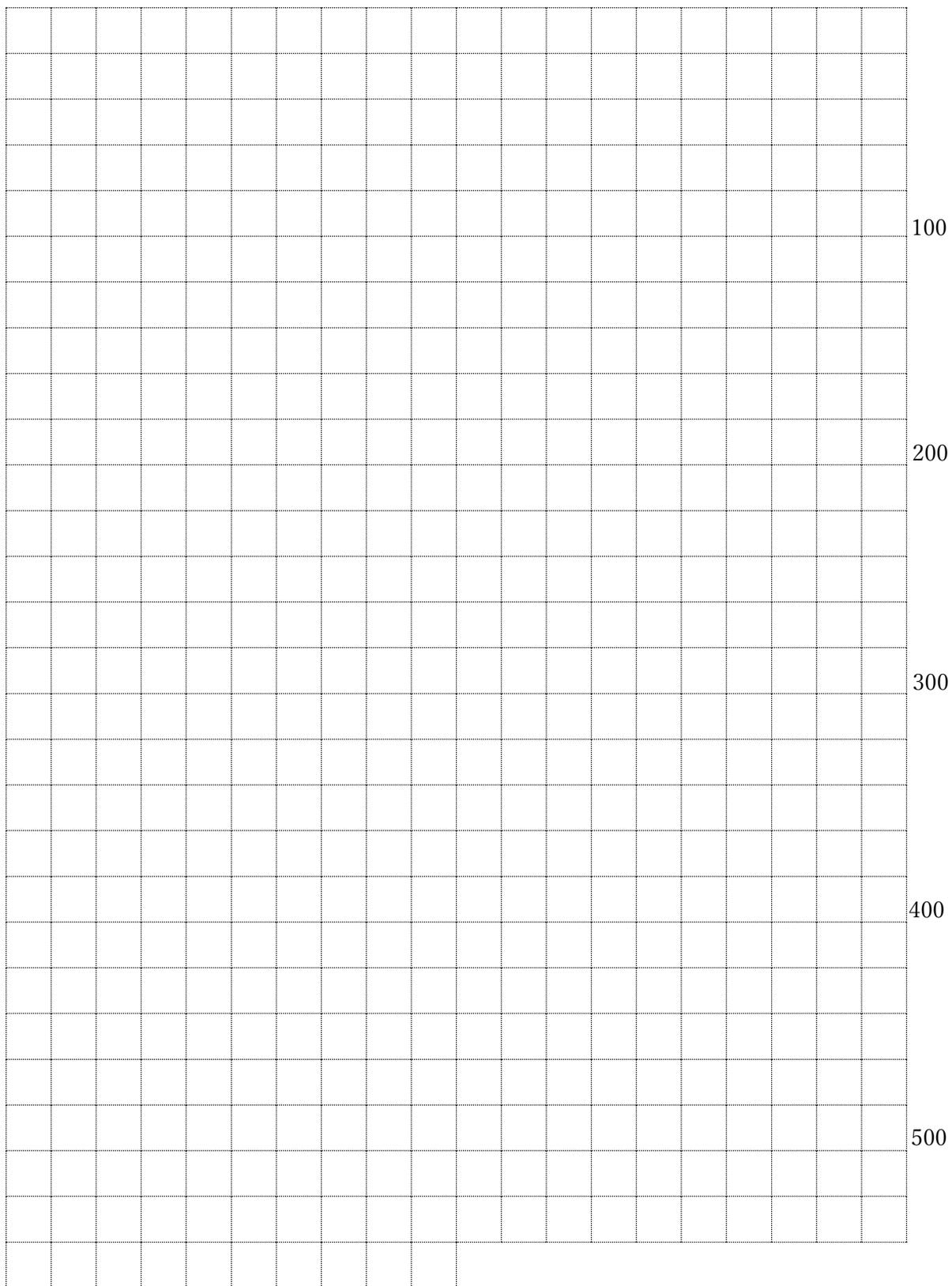
受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

設問 1 .

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

設問 2.



2023年度 聖路加国際大学 看護学部 一般入学試験 A方式

## 小論文

【設問1】

- ① d ② a ③ b ④ a ⑤ b ⑥ c ⑦ c

作題の意図

厚生労働省 令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況の主な死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移のデータからの出題である。問題1では、グラフを読み、問題の意味とデータを正しく理解する力、高校の学習範囲である疾病構造を理解しているかを評価するために設定した。問題2では、グラフを参考にしながら、自分の考えをわかりやすく論理的に記述する力を評価するために設定した。

日本は、感染性疾患が死因のトップだった時代から、非感染性疾患が死因のトップとなる時代へ変化している。日本における平均寿命は1947年では50歳台前半であったものが、現在では80歳を超えている。死因の疾病構造は変化し、超高齢化社会で、老衰による死亡も増加し、三大疾病であるがん(悪性新生物)・心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病が増加している。看護職の役割も、疾病に罹患する前の予防的な介入が重要となると考え、このテーマを取り上げた。

以上

2023 年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 A 方式  
出典一覧

【小論文】

厚生労働省 令和 3 年（2021）人口動態統計月報年計（概数）の概況